



**低位前方切除術後症候群（LARS : Low Anterior Resection  
Syndrome）を知っていますか？**

**本術式とLARSの原因および治療について**

**東京慈恵会医科大学附属第三病院**

**消化器外科医 榎本浩也**





一般社団法人

日本看護研究学会

# 日本看護研究学会 第49回学術集会 COI開示

榎本浩也

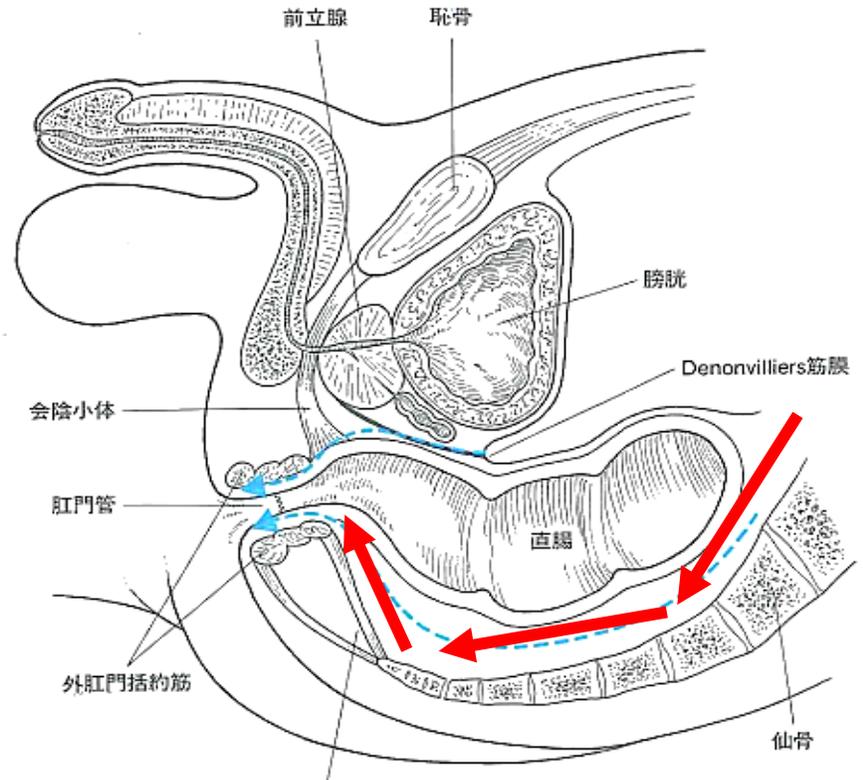
発表に関連し、発表者および全ての共同発表者には  
過去3年間において、開示すべきCOI 関係にある企業などは  
ありません。



# 肛門温存手術

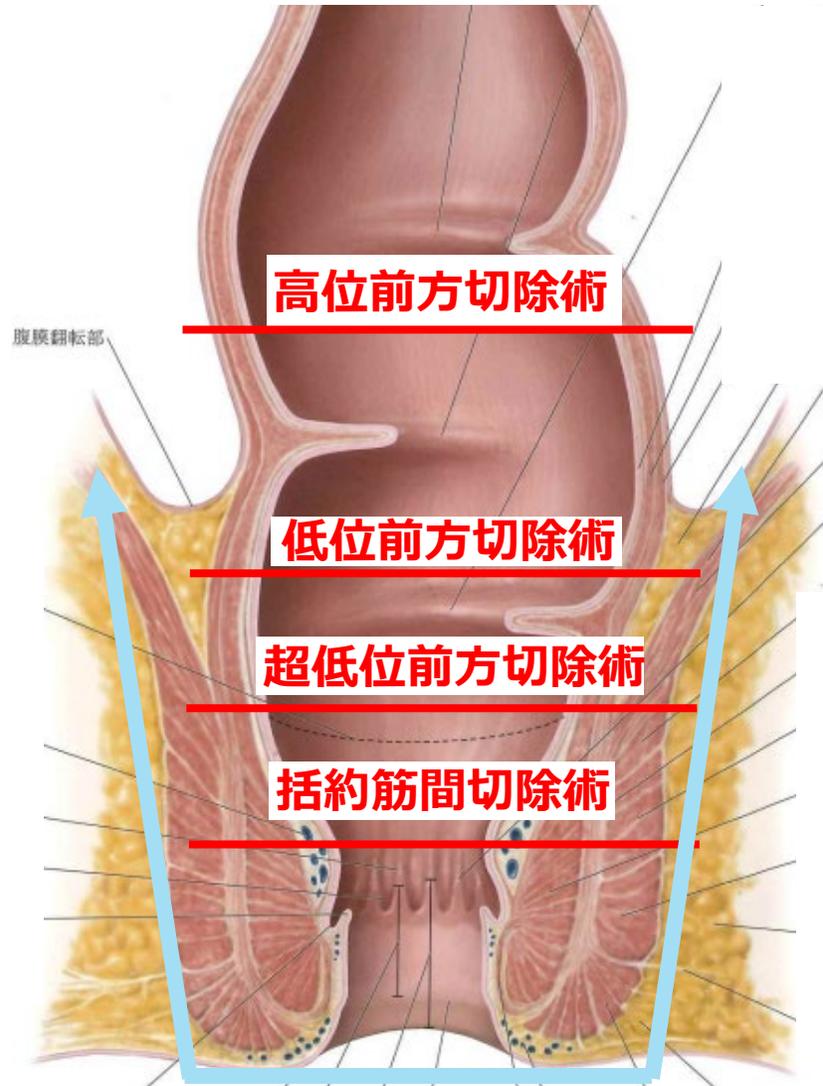
- ✓ 骨盤腔は狭い（特に男性）
- ✓ 精嚢と前立腺、子宮と膣が近接
- ✓ 排尿、性機能の神経が近い

➡ 縫合不全率、局所再発率が高い



この角度で手術がやりづらい

# 技術の進歩により肛門温存手術が増加



腹会陰式直腸切断術  
(永久人工肛門)



超低位前方切除術  
括約筋間切除術  
(肛門温存手術)





# LARSの頻度

直腸癌手術を受けた患者さんの約 **80~90** %

Martellucci J : Low Anterior Resection Syndrome :A Treatment Algorithm. Dis Colon Rectum 59 : 79-82, 2016

**10** 年以上経っても患者さんの **50** % が、LARSに苦しんでいる

Sturiale A, et al : Long-term functional follow-up after anterior rectal resection for cancer. Int J Colorectal Dis 32 : 83-88, 2017



# LARSの機序

一時的ストマによる  
排便に関わる筋肉の萎縮

腸管自律神経障害によ  
る腸管蠕動亢進

Negative  
impact of a  
diverting  
stoma

Autonomic  
denervation

新直腸の貯留能の変化  
(便貯留能の減少、  
神経障害による排便反射の低下)

骨盤への放射線治療

Compromised  
reservoir  
function of  
the neorectum

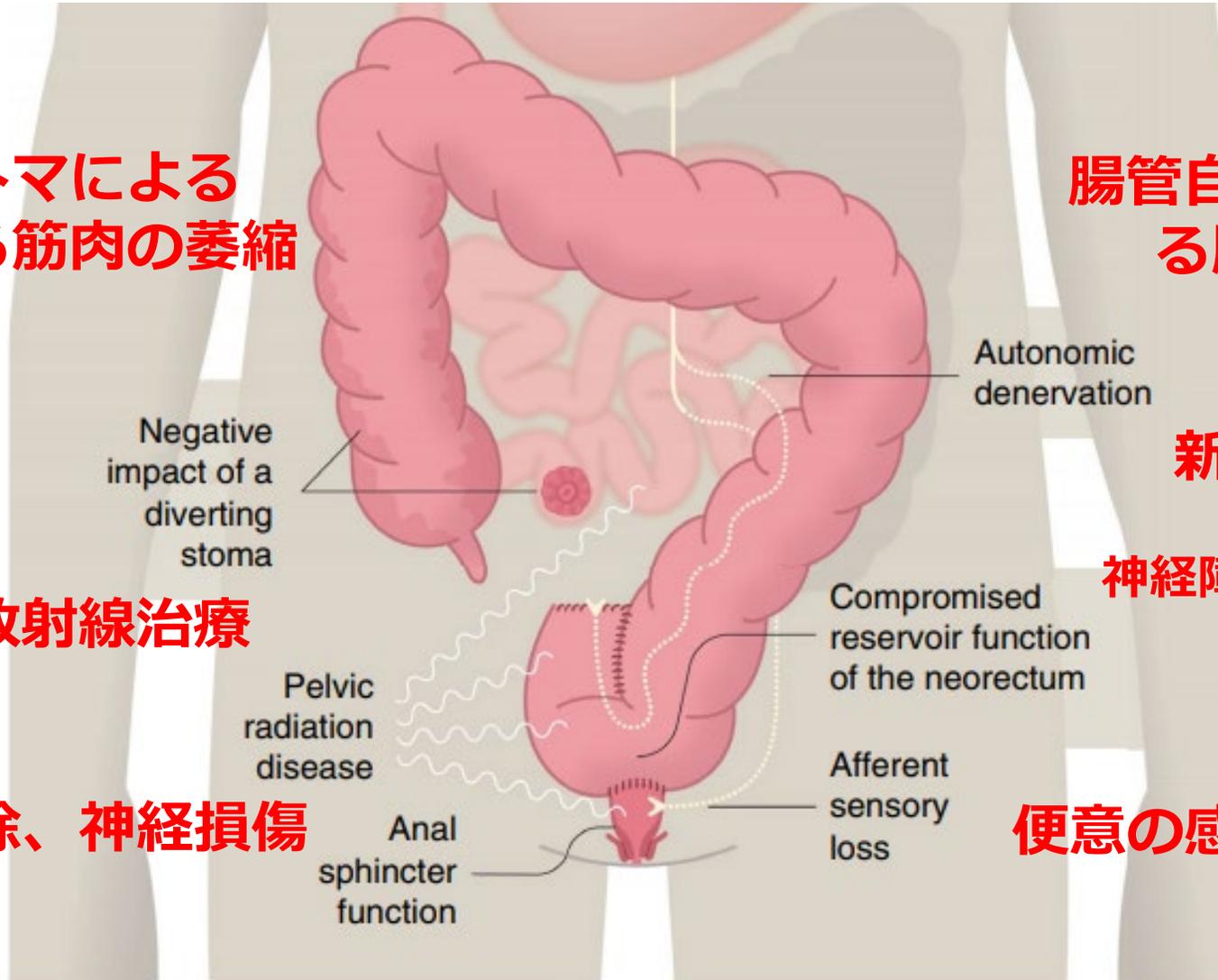
括約筋の切除、神経損傷

Pelvic  
radiation  
disease

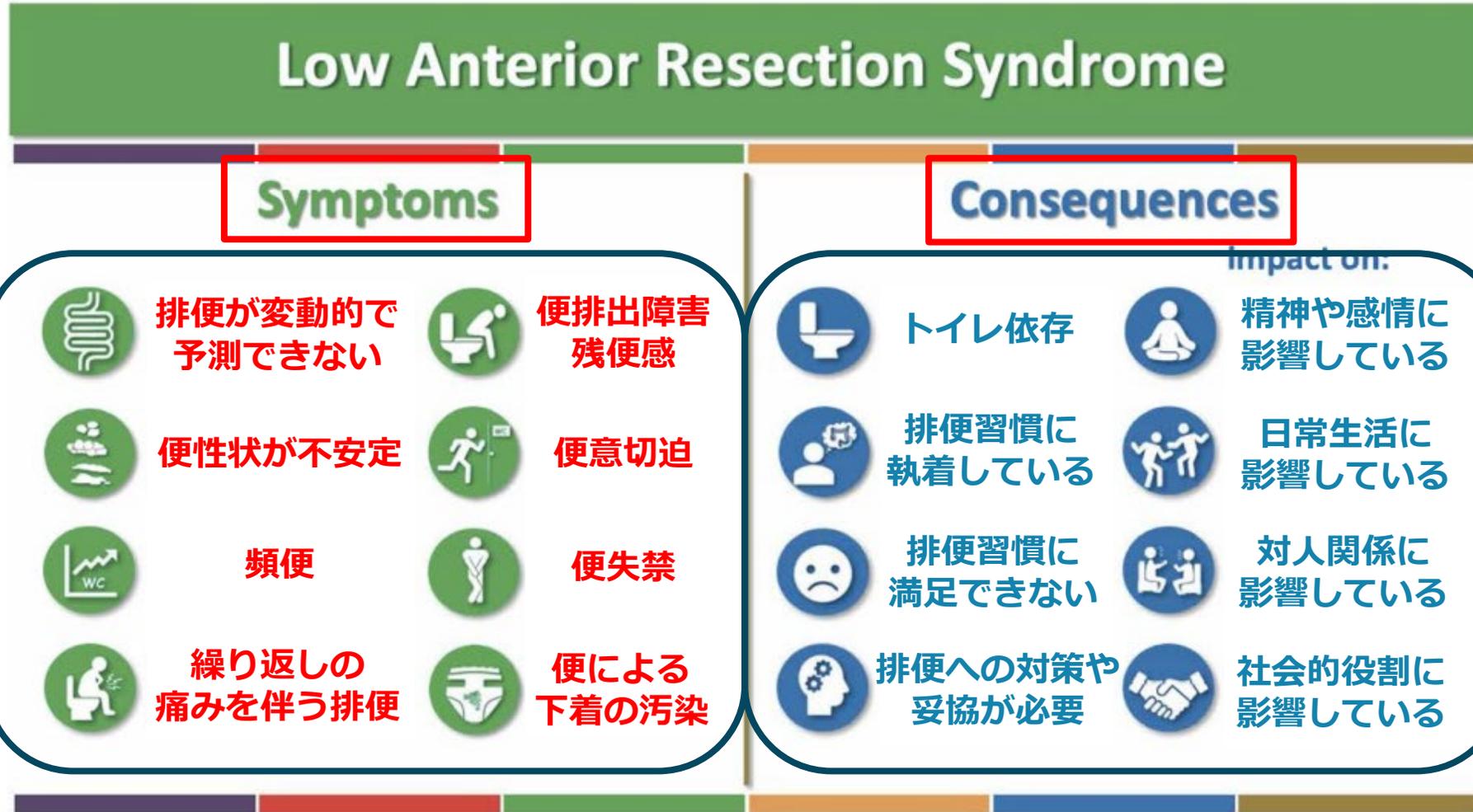
Afferent  
sensory  
loss

便意の感覚喪失

Anal  
sphincter  
function



# LARSの症状



At least one of these symptoms resulting in at least one of these consequences

# LARSが生活に及ぼす影響

- 便が出だすと、その後頻回に排便が続きトイレから離れられない
- 便意が突然襲ってきて、トイレを探しているうちに便を漏らした
- 会議の途中でおならが我慢できなくて恥ずかしい思いをした
- 外出する時は、食事を抜いてオムツをして出かける
- 突然の便意や失便が怖くて外出できない
- 排便障害により仕事内容の変更した、辞めることにした
- 朝起きたら下着に便がついていた
- 趣味を継続できなくなった



# LARSの治療

## 仙骨神経刺激療法

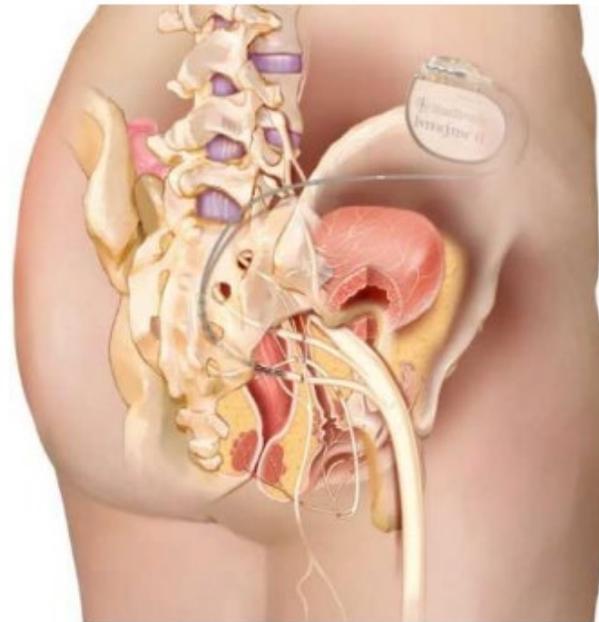
食事療法

薬物療法

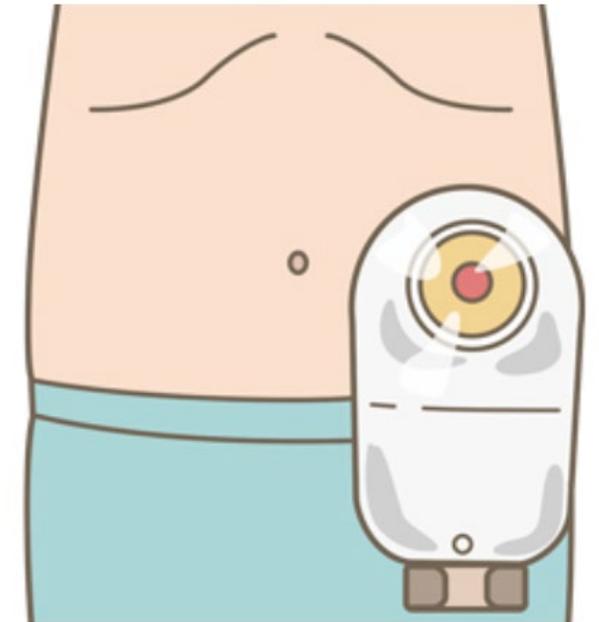
骨盤底筋群体操

バイオフィードバック療法

経肛門的洗腸療法



## 永久人工肛門造設





# 現状と今後の課題

- ✓ **患者さんの性格、生活環境、仕事、趣味などを考慮して肛門温存術式を行うかをよく検討する必要がある。**
- ✓ **LARSについて理解、説明しやすいツールが必要である。**
- ✓ **看護師や栄養士などを含めたチーム介入が重要となってくる。**

